下関の港と海の情報誌

しものせき Port News

2023 autumn

令和5年10月 Vol.28

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース



下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

関港(新港地区)

2023年(令和5年)5月にクルーズ岸壁が完成後、9月24日(日)、大型クルーズ旅客船が初寄港しまし た。同日には、下関市 港湾局と共催で「下関港(新港地区)クルーズ岸壁供用式典」を開催し、その後、下 関市 港湾局主催でMSCベリッシマ初寄港歓迎式典が執り行われました。



---::国整備 ---::下関市整備

整備後

下関港(新港地区)長州出島 旅客船寄港状況

当日は、国会議員をはじめ、山口県、下関市の議員の方々や下関港関係者、施工関係者など、およそ70 名の皆様にご臨席頂きました。



前田下関市長による式辞



セレモニー(テープカット)



MSCベリッシマ初寄港歓迎式典

クルーズ旅客船入港時には、早鞆高校生による平家太鼓の演奏で乗客を出迎え、乗客約1,800名は角 島・長門や唐戸周辺、門司港レトロなど、ツアーバスやシャトルバスによる市内・市外の観光を楽しみました。



高校生による平家太鼓の演奏



下関駅周辺の店舗前の状況

「MSCベリッシマ」概要

運航船社 : MSCクルーズ社 : 171,5981> 総トン数 全長 : 315.83m : 43.00m 全幅

乗客定員 : 5,654人 乗組員数 : 1,536人



クルーズ岸壁ができるまで(ダイジェスト)

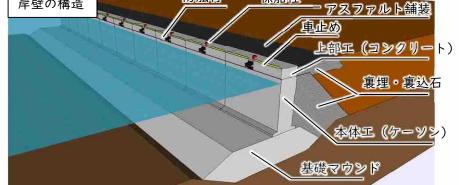
今回は、クルーズ岸壁ができるまでの一連の作業をダイジェスト版として紹介します。

岸壁の構造

整備施設:岸壁(-12m) 380m

整備期間 2019年(令和元年)11月~2023年(令和5年)5月





施エフロー

①海上地盤改良工

②基礎工

③本体工

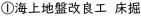
④上部工

⑤付属工

⑥裏込・裏埋工

⑦舗装工

完成







ガット船を使用し、5~100kg/個程度の

雑石を投入し、基礎マウンドを築造します。

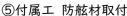
②基礎工 基礎捨石投入



大型の起重機船を使用し、平らに均した 基礎マウンド上にケーソンを据付、海水 を注水して沈めます。



据付けたケーソン周辺に足場と型枠を設 置し、コンクリートポンプ車にて圧送したコ ンクリートを打設します。





船舶が係船するために必要な防舷材 や係船柱を取付けます。

⑥裏込·裏埋工 裏込·裏埋材投入



ガット船を使用し、ケーソンの背後に5~ 100kg/個程度の雑石を投入します。

⑦舗装工 アスファルト舗装



ケーソン背後に投入した雑石上に舗装材を 敷均し、作業機械にて締め固めます。



完成写真(R5.5.17撮影)

トピックス

長州出島こども釣り体験イベントが開催されました

令和5年9月24日(日)午前中には、長州出島緑地(護岸北側)にて、クルーズ岸壁完成記念として、市内在住の小学4年生~中学3年生約50名を対象に(公財)日本釣振興会のご協力のもと、長州出島こども釣り体験イベント(下関市港湾局主催)が開催されました。参加された皆さんは楽しく釣りを体験できたようでした。





危険な魚の説明状況











釣りイベントの様子

また、長州出島大橋のたもとの夕なぎ公園では、地元自治会の子どもたちを対象に稚魚(キジハタ)放流イベントも開催されました。







稚魚放流イベントの様子

あるかぽーと地区におけるグリーンスローモビリティ実証運行

下関市 港湾局の取り組みとして、下関駅周辺から唐戸地区までの回遊性の向上に向けた新たな交通システムの実証調査が令和5年10月7日~22日にかけて、実施されました。時速20キロ未満の低速で走る電動自動車を使った実証調査であり、多くの市民や観光客らが体験していました。乗車した方にアンケート調査も行っており、その結果をもとに、今後、本格導入するかどうかについて検討が進められていきます。







〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1 TEL(083)266-3291

HPアドレス https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/

「海と港の総合窓口」 全国共通フリーダイヤル 受付時間:9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

